令和3年度 三重大学
オンデマンド動画配信講習一覧【選択必修】

講習内容の詳細については、必ず更新講習システムをご確認ください。(更新講習システムは3月上旬ごろ更新予定)
なお、更新講習システムに登録されている開催日程・講義日時については、システムの都合上、仮の日程が設定されておりますが、
実際の受講期間は全講習令和3年7月16日(金)～9月6日(月)ですので、ご注意ください。

講習の名称	講習の概要	担当講師	対象職種	主な受講対象者	受講定員
【選択必修】教育の情報化とプログラミング教育の基礎	【オンデマンド型】教育の情報化の観点から、授業におけるICT活用に関して概説し、授業においてICTを活用して効果的な指導を行うための基本的事項について講義する。さらに、情報モラル教育およびプログラミング教育について、小中学校におけるプログラミング教育等の実践事例をもとに、情報活用能力の育成や現代における情報教育の位置づけなどについて、講義と演習を通じて学ぶ。	中西 康雅(教育学部准教授)	全教員	小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	70人
【選択必修】ADHD、自閉症スペクトラム、学習障害の理解と対応について	【オンデマンド型】通常学級では、ADHD、自閉症スペクトラム、学習障害などの発達障害を有する児童生徒は、学習や行動において多様な問題を示すことが多い。一方の症状の多様さや深刻度は個人差があまりにも大きいために、教育現場では対応に苦慮する場面も多くみられる。それらの特性を理解するためには、標準化された尺度で評価することが重要である。本講義ではそれらの具体的な使用例を解説する。また学習障害、特にディスレキシアの理解と対応について本講義で解説する。	松浦 直己(教育学部教授)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	120人
【選択必修】発達障害のある幼児・児童・生徒や気になる子への教育や支援の現状と対応	【オンデマンド型】現在、通常学級や特別支援学級において、または通級指導により発達障害のある幼児・児童・生徒や気になる子への教育や支援が行われている。学習面や行動面において困難を示す幼児・児童・生徒への教育や支援の現状について、また指導法等について事例等を用いながら概説する(担当:森)。 学習面や行動面、対人関係での失敗経験から、不安の高まりや意欲の喪失といった適応困難を招くこともある。そうした幼児・児童・生徒への理解や、心理的介入等について、講義やワークを通して紹介する(風間)。	森 浩平(教育学部講師) 風間 惇希(学生総合支援センター・障がい学生支援室講師)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	70人
【選択必修】新要領・指針から見る保育・幼児教育のこれから	【オンデマンド型】新要領・指針では、保育・幼児教育の何がどのように変わったのか。改訂・改定の背景には何があり、これからの時代にはどのようなことが求められているか。海外の教育・保育事情や現場における実践事例などをふまえながら解説し、考え合いたい。 また、小学校教諭にとっても保幼小の円滑な接続・連携の観点から保育・幼児教育に関する知識・理解を得て、接続・連携に向けたカリキュラムづくりの参考となるような講習となっている。	富田 昌平(教育学部教授)	全教員	幼稚園 小学校	70人
【選択必修】学習心理学から考える協同的アクティブラーニング	【オンデマンド型】新学習指導要領において、「主体的・対話的で深い学び」(アクティブラーニング)を取り入れることが求められているが、これは「教え」から「学び」へのパラダイムシフトを求めるものである。そのため、「主体的・対話的で深い学び」の真の理解には、人がいかに学ぶかについて理解が重要である。そこで、本講習では「学び」について、科学的な探究を行っている学習心理学の観点から「主体的・対話的で深い学び」について考えたい。特に、主体的・対話的で深い学びの中で「対話的」の部分に着目し、協同による学びを中心に考えていきたい。	中西 良文(教育学部教授)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	70人
【選択必修】「チームとしての学校」を考える～多忙化の解消・同僚性の構築・新たなリーダーシップ～	【オンデマンド型】現在のわが国の学校では、教師の指導力の向上だけでなく、職務の多忙化や教員の孤立化といった課題に対応するために、学校組織の総合力を高めることが重要課題となっている。この課題に応えるためには、学校内での教職員の協働文化を形成するだけでなく、学校と地域社会との連携・協力体制を構築し、学校内外の様々な人材や専門家(専門スタッフ)の力を積極的に活用していくこと、すなわち「チームとしての学校」構想を実現することが求められる。本講習では、教育経営学の新しい知見を踏まえながら、これらのテーマについて考察する。	織田 泰幸(教育学研究科准教授)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	70人

令和3年度 三重大学
オンデマンド動画配信講習一覧【選択必修】

講習内容の詳細については、必ず更新講習システムをご確認ください。(更新講習システムは3月上旬ごろ更新予定)
なお、更新講習システムに登録されている開催日程・講義日時については、システムの都合上、仮の日程が設定されておりますが、
実際の受講期間は全講習令和3年7月16日(金)～9月6日(月)ですので、ご注意ください。

講習の名称	講習の概要	担当講師	対象職種	主な受講対象者	受講定員
【選択必修】参加・発信型のICT学習利用	【オンデマンド型】アクティブラーニングを実現するために、基本となる考え方や学習成果の活用について説明し、コンピュータやネットワーク等の活用について事例を紹介する。さらに、学習者の立場となったことを想定し、フットムービー、プレゼンテーション、スクラッチプログラミング、1人1台PCの活用等、主に演習形式で講習を進めていく。	須曾野 仁志(教育学研究科教授)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	150人
【選択必修】児童が楽しんで学べる外国語活動・外国語指導法	【オンデマンド型】児童が英語に興味関心を持って楽しく効果的に学べるように、英語指導の「いろは」を学びます。英語指導が初めての方でも安心してご参加いただけます。また、発達段階や第二言語習得概論にも触れますので、幼い子どもへの早期英語教育に関心のある方や、中高の先生方にもご参加いただけます。小学校の新学習指導要領に含まれるフォニックス、ICTの活用、複式学級での指導法もご紹介いたします。	大野 恵理(教育学部准教授)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	70人
【選択必修】教育活動全体を通して組織的・体系的に行うキャリア教育	【オンデマンド型】キャリア教育は、学校における教育活動全体の中で計画的・組織的に取り組み、イベント的な活動だけで終わらせないようにすることが大切である。キャリアは、子どもの発達段階やその発達課題達成と深く関わりながら段階を追って発達していくものであるため、それに応じて体系的に取り組む必要がある。この講習では、学ぶことと自己の将来のつながりを見通しながら社会的、職業的自立に向けて必要となる資質・能力を身に付けさせるため、それに必要な指導力の向上を図る。特に、高校での具体的な取り組みを例に挙げながら講習を行う。	齋藤 俊彰(生物資源学部非常勤講師)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	70人
【選択必修】主体的・対話的で深い学びを実現するインストラクショナルデザインの理論とモデル	【オンデマンド型】新学習指導要領で示されている資質及び能力の育成のための主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善には、実践的な理論とモデルが必要です。本講習は、「学習者中心の学びを実現するインストラクショナルデザインの理論とモデル」から、実践的な理論とモデルの普遍的な原理や理論的な基盤について学び、職種や学校種・教科に関係なく、主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善を設計(デザイン)できるようになることを目指します。	宮下 伊吉(地域人材教育開発機構准教授)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	70人
【選択必修】いじめ問題や体罰の未然防止と教育相談(いじめ、不登校問題を含む) 三重県教員免許状更新講習連絡協議会主催	【オンデマンド型】(1)過去に社会問題化したいじめ問題から、国や学校はどのような対策を講じ今日に至っているかを振り返り、教師一人ひとりができる効果的な取組を考える。また、体罰未然防止に必要な子どもファーストの学校の雰囲気や危機管理について考える。 (2)学級担任は、いじめや不登校、学力不振や行動上の問題を抱えた幼児・児童・生徒や、その保護者の教育・発達相談に適切に対応しなければならない。どのように教育相談を進めればよいのかについて、具体的事例にもふれつつ解説する。	水谷 明弘(鈴鹿大学 こども教育学部教授) 山口 昌澄(高田短期大学 子ども学科教授)	全教員	幼稚園 小学校 中学校 高等学校 特別支援学校	70人